

**“次なるデジタル化”を実現する「ABook360」が
Osaka Metro の全乗務員のタブレット端末に導入され、お客様対応強化に一役**

株式会社エージェンテック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金 淳採、以下「エージェンテック」）は、大阪市高速電気軌道株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：河井 英明、以下「Osaka Metro」）が、8 月から順次導入しているタブレット端末に、コンテンツ管理ソリューション「ABook360（エーブック・サンロクマル）」を提供し、9 月 1 日より本格的に運用を開始したことをお知らせいたします。鉄道事業者での ABook シリーズ（OEM 製品を含む）の導入は 10 社目。



2018 年 4 月に大阪市営地下鉄が民営化して誕生した Osaka Metro は、「安全・安定・快適輸送」を掲げて、業務に取り組んでおります。その一環として、お客様対応の強化を図るために ABook360 を導入しました。運転部の全乗務員、約 1,000 人に対して、ABook360 をインストールしたタブレット端末を配布しました。

【導入前の課題】

- ・お客様へのご案内をさらに充実させたい。
- ・乗務員の知識やスキルを効率的に高めたい。
- ・乗務員が携行する規程類等が紙なので、携行性に欠ける。

【ABook360 導入による効果】

業務に必要な情報をタブレット端末に集約。規程類や業務マニュアルなどの資料をペーパーレス化することで、携行性を高めるとともに省資源化を図りました。また、資料のほか、音声や 360 度パノラマ VR などを活用し、乗務員の知識やスキルの向上にも一役買っています。



異常時放送文例を確認し放送を実施する乗務員



具体的な活用方法を一部紹介します。

車内放送の音声が多言語化

異常時の多言語放送により外国からのお客さまへの案内を、より正確に提供することが可能になりました。

車両内の機器等の確認に 360 度パノラマ VR

車両内の空間情報に機器等の情報をシームレスに組み合わせることで乗務員の知識やスキルの向上が効率的になりました。実際に車両内にいなくても空間情報を把握できるので、研修においてもご利用いただいております。

■「ABook360」(<https://abook360.agentec.jp/>) について

社内資料や動画、画像、音声、360 度パノラマ VR など多様なデータをクローズド環境下で安全に利用するためのコンテンツ管理ソリューションです。単なる紙のデジタル化やデータ管理にとどまらず、データを組み合わせることで、より効果的なデータ活用の形“次なるデジタル化”を実現します。

■エージェンテックについて

[代表取締役社長] 金 涼採

[事業内容]ABook シリーズを中心に事業を展開。同シリーズはモバイルコンテンツ管理市場で 4 年連続 NO.1(※)。また、2017 年 9 月に、革新的なテクノロジーベンチャーを選出するアワード「2017 Red Herring Top 100 Asia」を受賞するなど注目を集めております。

[本社所在地] 東京都千代田区九段南 3-2-7 いちご九段三丁目ビル 3F

[URL] <https://www.agentec.jp/>

※ミック経済研究所「コラボレーション・モバイル管理パッケージソフトの市場展望 2018 年度版」より

■Osaka Metro について

[代表取締役社長] 河井 英明

[本社所在地] 大阪府大阪市西区九条南 1 丁目 12 番 62 号

[URL] <https://www.osakametro.co.jp/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社エージェンテック

マーケティング部

Tel: 03-3239-3681 Email: marketing@agentec.jp